

ホームページのご案内

当社のHPでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスして下さい。

URL:<http://www.ikco.co.jp/>



株式会社アイケイコーポレーション

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050



株式会社アイケイコーポレーション

株主の皆様のお声を聞かせ下さい

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答下さい。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円分)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3377**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索して下さい。



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信して下さい(タイトル、本文は無記入)。アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

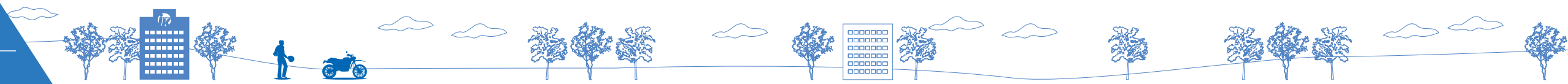


株主の皆様へ

第11期 株主通信

2008年9月1日~2009年8月31日





代表取締役社長 取締役会長
加藤 義博 石川 秋彦

ご挨拶

当社グループは、2002年12月に看板を備えた買取専門店「バイク王」1号店を新潟に出店し、第6期(2004年8月期)以降「バイク王100店舗計画」を掲げ、積極的な広告宣伝活動に加え、多店舗展開を進めることで、認知度・信用力向上に努めてまいりました。

この結果、取扱台数が増加し、第11期におきまして、「バイク王100店舗計画」を達成するという節目の年を迎えることができました。

ここに第11期株主通信をお届けするにあたりまして、皆様の日ごろのご支援とご協力に対し、心より御礼申し上げます。

第11期(2009年8月期)業績の概況について

第11期における経済環境は、米国発の金融危機が世界中に広がり、国内におきましても、急激な円高などによる企業の収益の減少、雇用情勢の悪化などから個人消費が減少し、景気が低迷いたしました。当社コアビジネスである中古オートバイ買取販売においても、従来からの積極的な広告宣伝活動に加え、

多店舗展開を進めました結果、販売台数は増加いたしました。輸出業者の買い控えなどにより、オークション相場が下落いたしました。当社としては、粗利額確保に努めましたが、平均売上単価および平均粗利額が低下し、第11期におきましては、業績予想を二度修正することとなり、株主の皆様には誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。

オートバイ小売販売に関しては、「バイク王」のブランドカ・ス

ケールメリットを活かし、買取販売とのシナジー効果の追求を目的に、ブランド統合を進めてまいりました結果、販売台数が増加いたしました。また、オートバイ駐車場事業においては、収益の向上を念頭に置いた事業展開に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高23,502百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益646百万円(同65.3%減)、経常利益671百万円(同64.7%減)、当期純利益251百万円(同70.4%減)となりました。

今後の取り組みについて

第12期(2010年8月期)については、第11期に広告宣伝費における費用対効果の改善施策の効果が確認できたことを踏まえ、広告出稿量の増加により、販売台数の増加を図ります。併せて、100店舗の店舗網を活用し、一店舗当たりの取扱台数を増加させるとともに、販売台数を増加させ、売上高の増加を図ってまいります。

また、広告出稿単価の引き下げの実施、一店舗当たりの取扱台数増加による生産性の向上、物流拠点の新設による整備体制の強化(質の確保)を行うなど、利益体質の強化を図って

まいります。

新規出店に関しましては、バイク王ブランドを活用し、買取と小売の併設店を出店する予定です。小売販売・駐車場事業に関しては、改善効果のみられた第11期下期の施策を通期で実施し、「バイク王」の収益力に加え、小売販売・駐車場事業についての経常黒字化を実現してまいります。

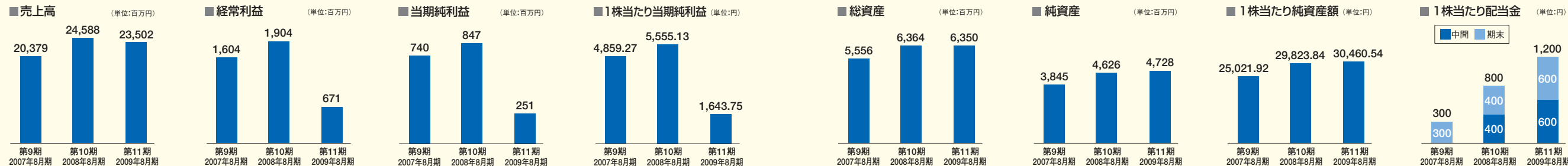
12期配当予想ならびにメッセージ

第12期の配当金につきましては、1株当たり中間配当600円、期末配当600円をそれぞれ予定しております。

当社は100店舗達成を通過点として捉え、今後もオートバイ買取業界そのものの認知度向上を目指すとともに、上場企業としての責任をより一層認識し、企業価値の最大化に向け邁進してまいります。株主の皆様には、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2009年11月

連結財務ハイライト



バイク買取専門店 バイク王

2009年8月19日、 「バイク王100店舗計画」達成

当社は、市場のシェア・認知度確保を目的として、2004年8月期より「バイク王100店舗計画」を掲げ、積極的に出店をしてまいりました。このたび、バイクの日である2009年8月19日の「バイク王小平店」（東京都小平市）出店をもって、バイク王は100店舗体制を予定通りに実現いたしました。

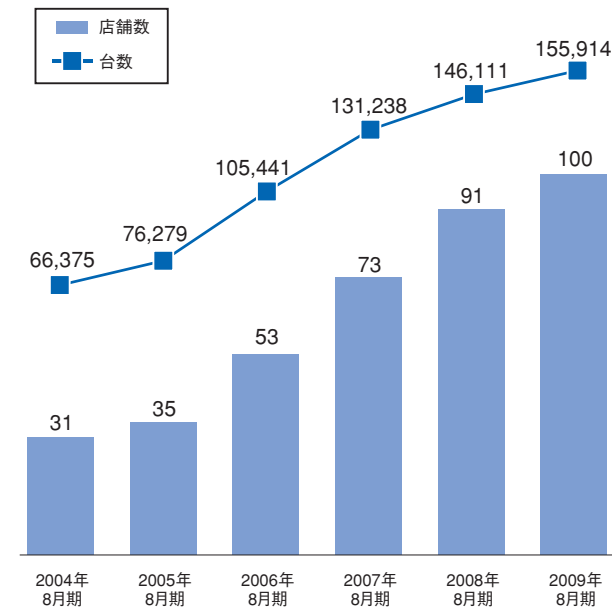


2002年12月、看板による視認効果を備えた初のロードサイト店舗として、「バイク王新潟店」（新潟市）がオープン、現在バイク王は全国40都道府県で展開しております。



第11期の販売台数（買取販売）は155,914台（前期比6.7%増）。買取実績No.1*を誇るバイク王は、お客様の利便性を徹底的に追求したサービスで、躍進してまいります。
※出典元：株式会社矢野経済研究所調べ（2009年4月15日現在）

「バイク王」出店推移・買取販売台数



バイク王 ダイレクトSHOP

2008年12月より、小売販売ブランドを「バイク王ダイレクトSHOP」に統合開始

小売販売の強化を目的として、「テクノスポーツ」の屋号を「バイク王ダイレクトSHOP」に統合開始。ブランド全体の更なるシナジー効果と認知度向上を狙います。またブランド統合に伴いウェブサイトをオープンし、店頭販売に加えインターネット販売にも注力することで、多様化するユーザーニーズに対応してまいります。



バイク王 PARTS SHOP

パーツ販売ブランド「バイク王PARTS」が「バイク王PARTS SHOP」に名称変更

「バイク王PARTS」の名で展開してきたパーツ販売ブランドを、小売販売ブランドと親和性の高い「バイク王PARTS SHOP」に名称変更。その上で、2009年2月、東京都板橋区に小売販売店との併設店をリニューアルオープン。車輛・パーツ販売の強化を図ってまいります。



BIKE PARKING パーク王

パーク王、設置車室数が1,500車室を突破

2006年3月にスタートした駐車場事業を営む子会社「パーク王」において、設置車室数が当期1,500車室を突破。採算性を重視しながら事業地開発を継続しています。



社会貢献活動

バイク王Presents「えぼしのこころ'09」に参加しました

茅ヶ崎ヘッドランドビーチ（神奈川県）で開催された海岸清掃イベント「えぼしのこころ'09」に参加しました。

2007年度より参加している当イベントにおいて、今年も新卒内定者を中心としてビーチクリーン活動を行い、環境保全活動に努めました。



「バイクで俳句グランプリ2009」を開催しました

今年で3度目の開催となる当グランプリでは、「オートバイの魅力」をテーマに、俳句と川柳を募りました。

応募総数2,725句の中から、当社名・ブランド名を冠した受賞句を選句、賞金とオリジナルグッズを贈呈しました。



「オートバイライフの総合プランナー」実現に向けて

買取販売店

バイク買取専門店
バイク王



※出典元：
株式会社矢野経済研究所調べ
(2009年4月15日現在)

全国の各店舗からお客様のご自宅へ、ご指定の時間に専門の査定員が直行する無料出張買取。独自開発のITシステム「i-kiss」に支えられた全国統一の査定基準による明瞭かつ適正な買取価格の提示。トラブルのない現金決済。当社は、常にオートバイユーザーの立場で考え、その利便性を徹底的に追求してまいりました。お客様本位のサービスをお届けし、ユーザーに信頼され選ばれるブランドであるべく、スタッフ一丸となって日々の業務に取り組んでいます。



ココがポイント!

バイク買取専門店
バイク王 の強み

24時間365日受付

インフォメーションセンターにおける24時間365日無休の申し込み受付。「今すぐ」というご要望にもクイックレスポンスでお応えします。

無料出張買取

お客様がご希望の日時に、ご自宅へ査定員が訪問します。小型パソコンで査定し、成約の場合はその場で現金決済を行います。

手続き代行

お譲りいただいたオートバイに関する名義変更、廃車手続きなど、売却時に発生する煩雑な手続きを無料で代行します。

全国展開

「全国どこへでも無料出張買取」を可能にしたスケールメリットを活かし、お客様への迅速な対応を図るほか、視認性向上による認知度拡大にも努めています。



小売販売店

バイク王
ダイレクトSHOP

高い認知度を誇る「バイク王」のブランド力を源泉に、全てのオートバイユーザーをターゲットとした小売販売店。豊富な取扱い車両、市場を加味したリーズナブルな価格、「バイク王」と連携した独自のサービスを展開し、ユーザーと「ダイレクト」に結ばれるオートバイショップを目指します。



オートバイ駐車場

BIKE PARKING
バイク王

時代のニーズに合わせた、都市型展開のオートバイ駐車場。時間貸し、月極の両面からユーザーをサポート。交通環境の整備促進、違法駐車への低減にも寄与。狭小地、変形地などの有効活用も可能な公共性の高い事業です。



パーツ販売店

バイク王
PARTS SHOP

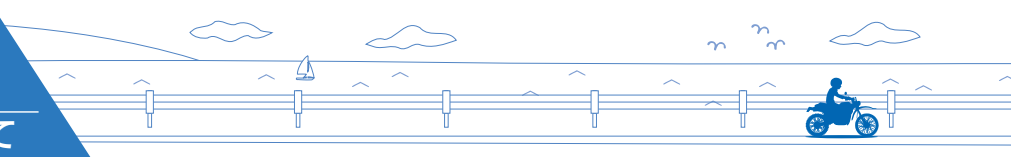
「バイク王」の直営店としてオープンしたパーツ専門店。中古パーツはもちろん、新品、アウトレット商品の品揃えも充実しています。店舗には整備ブースも完備しているため、商品をお店で取り付けることが可能。店舗販売のほか、WEB販売も行っています。



海外取引

moto-ik

各国のニーズに応じた販路を、新たに開拓するための海外取引ブランド。海外マーケットでの、個人・法人をターゲットとした新たなビジネスを模索しています。



アイケイ コーポレーションの

ココが
知りたい!

Q & A

株主様のご質問にお答えします。

Q 中古オートバイ業界について教えてください。

A 国内のオートバイ保有台数*は、1,278万台(2008年3月末現在)といわれており、全体として微減する傾向ですが、比較的市場価値の高い軽二輪・自動二輪といった大型オートバイの保有台数は増加傾向にあります。
また、オートバイのオークション市場における出品・売却台数も近年、増加傾向にあります。

* 出所：社団法人日本自動車工業会
[参考] 軽二輪(126cc~250cc)、
自動二輪(251cc~)

Q 広告宣伝費の考え方について教えてください。

A 「バイク王」は、お客様からお申し込みを受付し、出張買取を行うというビジネスモデルとなっています。
このため、「お客様からお申し込み」を呼び込むための広告宣伝が、ビジネスモデル上、非常に重要なものとなります。そこで、当社は費用対効果測定を導入し、情報をデータベース化、詳細な分析をした上で、効果的な広告宣伝を行っています。

Q 金融危機後、どのような影響を受けましたか？

A 金融危機後の世界的な不況・円高により、輸出業者の買い控えなどが生じ、中古二輪車のオークション相場下落の一因となりました。この結果、当社も平均売上単価ならびに平均粗利額が低下するなどの影響を受けました。
一方で、販売台数は、前期比6.7%増の155,914台となり、比較的堅調に推移しております。

Q 配当について教えてください。

A 配当につきましては、安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績などを勘案した上で配当金額を決定しております。2010年8月期においても、この基本方針を維持しつつ株主の皆様への利益還元を充実させるという観点から、当期同様、年間1,200円(中間600円、期末600円)の配当を考えております。

Q 9月28日に発表された自己株式取得について教えてください。

A 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため、自己株式取得数の上限を7,000株(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合4.58%)、株式取得価額の上限を3.5億円とし、市場取引(立会い外取引を含む)により自己株式の取得を実施いたします。
(取得期間：2009年10月15日～2010年2月19日)

今後も、「バイク王」をコアビジネスと位置づけ売上高・利益を拡大

2010年8月期に、小売販売&駐車場事業の経常黒字化を見込む

売上高の増加	買取販売 買取販売	広告出稿量の増加による販売台数増加 一店舗当たりの取扱台数の増加による販売台数の増加
収益体質の強化	買取販売 買取販売 買取販売	広告出稿単価の引き下げ 一店舗当たりの取扱台数の増加による生産性向上 物流拠点の新設による整備体制の強化(質の確保)
「バイク王」の収益力に加え、小売販売・駐車場の経常黒字化	買取販売&小売販売 小売販売&駐車場	バイク王ブランドの活用(併設店舗出店) 2009年8月期下期の施策を通期で実施

2010年8月期業績予想

連結			
売上高	：	24,587百万円	(前期比 4.6%増)
売上総利益	：	13,776百万円	(前期比 9.1%増)
営業利益	：	1,016百万円	(前期比 57.3%増)
経常利益	：	1,043百万円	(前期比 55.3%増)
当期純利益	：	536百万円	(前期比 113.5%増)
買取販売			
売上高	：	22,642百万円	(前期比 2.5%増)
経常利益	：	1,021百万円	(前期比 21.7%増)
小売販売			
売上高	：	3,017百万円	(前期比 30.9%増)
経常利益	：	10百万円	(前期比 -%)
駐車場(パーク王)			
売上高	：	591百万円	(前期比 50.1%増)
経常利益	：	32百万円	(前期比 -%)

	2009年8月期 (実績)	2010年8月期 (予想)
【買取販売店】 バイク王	100店	101店*1
【小売販売店】 バイク王 SHOOT-SHOP	10店	12店*2
【パーツ販売店】 バイク王 PIE-SHOP	1店	1店
店舗数合計	111店舗	114店舗
物流センター	6拠点	7拠点
販売台数【買取販売】	155,914台	169,900台
販売台数【小売販売】	6,339台	7,800台

*1 買取・小売併設店2店舗を新規出店する予定です。なお、1店舗の閉鎖を検討しております。
*2 買取・小売併設店2店舗を新規出店する予定です。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	第10期 (2008年8月31日現在)	第11期 (2009年8月31日現在)
●資産の部		
流動資産	4,674,345	4,656,515
現金及び預金	3,609,602	3,337,456
売掛金	103,197	159,202
たな卸資産	607,251	—
商品	—	772,564
貯蔵品	—	21,955
前払費用	240,828	234,230
繰延税金資産	59,763	42,901
その他	53,776	88,627
貸倒引当金	△73	△424
固定資産	1,689,881	1,694,335
有形固定資産	863,401	895,346
建物及び構築物	628,968	601,982
車両運搬具	90,224	62,224
リース資産	—	138,983
その他	82,664	79,650
建設仮勘定	61,544	12,506
無形固定資産	196,899	139,431
ソフトウェア	171,756	119,605
その他	25,142	19,825
投資その他の資産	629,580	659,557
繰延税金資産	124,840	104,761
敷金及び保証金	501,732	520,252
その他	8,007	50,112
貸倒引当金	△5,000	△15,569
資産合計	6,364,227	6,350,850

科目	第10期 (2008年8月31日現在)	第11期 (2009年8月31日現在)
●負債の部		
流動負債	1,672,737	1,466,106
買掛金	100,380	83,314
短期借入金	220,000	238,000
1年内返済予定の長期借入金	24,000	—
リース債務	—	34,864
未払金	493,503	528,048
未払法人税等	472,327	284,180
その他	362,525	297,699
固定負債	65,353	156,176
リース債務	—	117,418
その他	65,353	38,757
負債合計	1,738,091	1,622,282
●純資産の部		
株主資本	4,558,752	4,657,154
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,367,829	3,466,230
評価・換算差額等	—	△1,077
為替換算調整勘定	—	△1,077
新株予約権	67,383	72,492
純資産合計	4,626,136	4,728,568
負債純資産合計	6,364,227	6,350,850

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第10期 (2007年9月1日から 2008年8月31日まで)	第11期 (2008年9月1日から 2009年8月31日まで)
売上高	24,588,896	23,502,365
売上原価	11,717,608	10,870,124
売上総利益	12,871,288	12,632,240
販売費及び一般管理費	11,007,280	11,985,698
営業利益	1,864,008	646,542
営業外収益	64,021	74,700
営業外費用	23,225	49,301
経常利益	1,904,803	671,941
特別利益	540	1,438
特別損失	364,868	83,163
税金等調整前当期純利益	1,540,476	590,216
法人税等	692,607	338,959
当期純利益	847,869	251,257

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第10期 (2007年9月1日から 2008年8月31日まで)	第11期 (2008年9月1日から 2009年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,480,365	247,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△494,826	△328,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,694	△191,310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	962,843	△272,145
現金及び現金同等物の期首残高	2,646,758	3,609,602
現金及び現金同等物の期末残高	3,609,602	3,337,456

■事業の種類別セグメント情報 (単位:千円)				
	中古オートバイ 買取販売事業	オートバイ 駐車場事業	消又は 全社	合計
→売上高	23,108,357	394,368	△360	23,502,365
→営業利益(△損失)	667,722	△24,537	3,357	646,542

連結株主資本等変動計算書

第11期(2008年9月1日から2009年8月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2008年8月31日残高	585,650	605,272	3,367,829	4,558,752	—	—	67,383	4,626,136
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△152,856	△152,856				△152,856
当期純利益			251,257	251,257				251,257
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					△1,077	△1,077	5,108	4,031
連結会計年度中の変動額合計	—	—	98,401	98,401	△1,077	△1,077	5,108	102,432
2009年8月31日残高	585,650	605,272	3,466,230	4,657,154	△1,077	△1,077	72,492	4,728,568

貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	第10期 (2008年8月31日現在)	第11期 (2009年8月31日現在)
●資産の部		
流動資産	4,625,243	4,620,576
現金及び預金	3,587,300	3,325,726
売掛金	93,096	157,757
商品	604,403	771,135
貯蔵品	1,664	21,750
前払費用	225,880	210,241
繰延税金資産	59,763	42,901
未収入金	—	83,480
その他	53,205	7,582
貸倒引当金	△69	—
固定資産	1,798,960	1,563,707
有形固定資産	853,794	798,377
建物	592,949	570,282
構築物	29,167	27,239
車両運搬具	90,125	62,190
工具、器具及び備品	80,008	75,906
リース資産	—	50,252
建設仮勘定	61,544	12,506
無形固定資産	196,899	138,611
商標権	5,629	5,023
電話加入権	7,631	7,631
ソフトウェア	171,756	118,941
リース資産	—	1,058
ソフトウェア仮勘定	11,881	5,955
投資その他の資産	748,266	626,718
出資金	240	240
長期貸付金	—	5,569
従業員長期貸付金	1,554	1,173
関係会社長期貸付金	—	90,000
長期前払費用	6,212	6,938
繰延税金資産	257,939	104,761
敷金及び保証金	487,319	495,036
貸倒引当金	△5,000	△77,000
資産合計	6,424,204	6,184,284

科目	第10期 (2008年8月31日現在)	第11期 (2009年8月31日現在)
●負債の部		
流動負債	1,395,906	1,176,543
買掛金	100,380	83,314
リース債務	—	14,506
未払金	484,423	523,162
未払費用	169,542	160,771
未払法人税等	472,147	284,000
未払消費税等	84,033	8,344
前受金	21,349	56,573
預り金	62,955	38,886
その他	1,073	6,984
固定負債	268,958	286,828
リース債務	—	40,894
長期未払金	12,264	114
関係会社損失引当金	255,775	241,646
その他	918	4,172
負債合計	1,664,865	1,463,371
●純資産の部		
株主資本	4,691,955	4,648,420
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,501,031	3,457,497
新株予約権	67,383	72,492
純資産合計	4,759,338	4,720,912
負債純資産合計	6,424,204	6,184,284

損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	第10期 (2007年9月1日から 2008年8月31日まで)	第11期 (2008年9月1日から 2009年8月31日まで)
売上高	23,925,796	23,108,357
売上原価	11,335,738	10,524,887
売上総利益	12,590,058	12,583,469
販売費及び一般管理費	10,407,495	11,915,747
営業利益	2,182,562	667,722
営業外収益	32,141	52,622
営業外費用	12,289	14,031
経常利益	2,202,414	706,313
特別利益	493	15,567
特別損失	939,129	140,684
税引前当期純利益	1,263,778	581,196
法人税等	585,011	471,875
当期純利益	678,766	109,321

株主資本等変動計算書 第11期 (2008年9月1日から2009年8月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							株主資本 合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金						
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金 繰越利益剰余金		利益剰余金 合計			
2008年8月31日残高	585,650	605,272	605,272	13,250	1,230,000	2,257,781	3,501,031	4,691,955	67,383	4,759,338
事業年度中の変動額										
剰余金の配当						△152,856	△152,856	△152,856		△152,856
当期純利益						109,321	109,321	109,321		109,321
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									5,108	5,108
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	△43,534	△43,534	△43,534	5,108	△38,425
2009年8月31日残高	585,650	605,272	605,272	13,250	1,230,000	2,214,247	3,457,497	4,648,420	72,492	4,720,912

■ 会社概要 (2009年8月31日現在)

商号 株式会社アイケイコーポレーション
 本社所在地 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
 事業内容 オートバイの新しい流通システムを提案する「バイク買取専門店」の経営
 設立 1998年9月(創業1994年9月)
 資本金 585,650千円
 連結従業員数 923名/平均年齢29.4歳

■ 役員 (2009年11月26日現在)

取締役会長 石川 秋彦 常勤監査役 増淵 洋吉
 代表取締役社長 加藤 義博 監査役 諏訪 浩
 取締役副社長 大谷 真樹 監査役 山口 達郎
 取締役 山縣 俊

■ 株主メモ

事業年度 9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
 定時株主総会の基準日 8月31日
 剰余金の配当基準日 8月31日
 期末配当 2月末日
 中間配当 2月末日
 株主名簿管理人 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話お問い合わせ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 公告方法 当社ウェブサイト (<http://www.ikco.co.jp/>) もしくは日本経済新聞

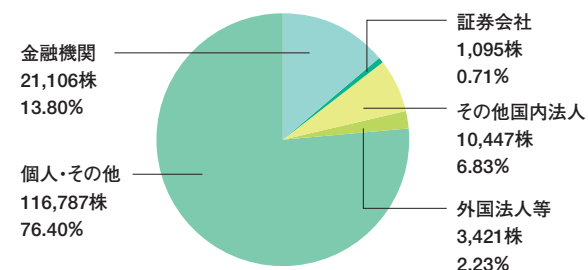
■ 株式の状況 (2009年8月31日現在)

発行可能株式総数 600,000株
 発行済株式数 152,856株
 株主数 2,561名

■ 大株主 (上位10名) (2009年8月31日現在)

株主名	持株数	議決権比率
石川秋彦	39,151 株	25.61 %
加藤義博	35,195	23.02
有限会社ケイ	9,000	5.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,684	5.68
石川ゆかり	7,980	5.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,445	4.87
大谷真樹	3,158	2.06
松山太河	3,134	2.05
加藤信子	2,940	1.92
アイケイコーポレーション従業員持株会	2,726	1.78

■ 所有者別株式分布状況



■ ネットワーク (2009年10月1日現在)

- 本社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
- インフォメーションセンター
- 第二インフォメーションセンター
- 横浜物流センター
- 筑波物流センター
- さいたま物流センター
- 名古屋物流センター
- 大阪物流センター
- 福岡物流センター

近畿エリア

バイク王 18店舗
 バイク王 SHILOP-SHOP 1店舗
 物流センター 1拠点

中国エリア

バイク王 5店舗

九州エリア

バイク王 7店舗
 バイク王 SHILOP-SHOP 1店舗
 物流センター 1拠点

沖縄エリア

バイク王 1店舗

東海エリア

バイク王 10店舗
 バイク王 SHILOP-SHOP 2店舗
 物流センター 1拠点

四国エリア

バイク王 3店舗



北海道エリア

バイク王 4店舗

東北エリア

バイク王 4店舗
 バイク王 SHILOP-SHOP 1店舗
 インフォメーションセンター 1拠点

信越・北陸エリア

バイク王 3店舗

関東エリア

バイク王 45店舗
 バイク王 SHILOP-SHOP 3店舗
 i-knew 1店舗
 SHILOP-SHOP 1店舗
 バイク王 /i-SHOP 1店舗
 インフォメーションセンター 1拠点
 物流センター 3拠点